

住民情報や建物情報に対する
住所情報から XY 座標へ変換する仕組みの
検討報告

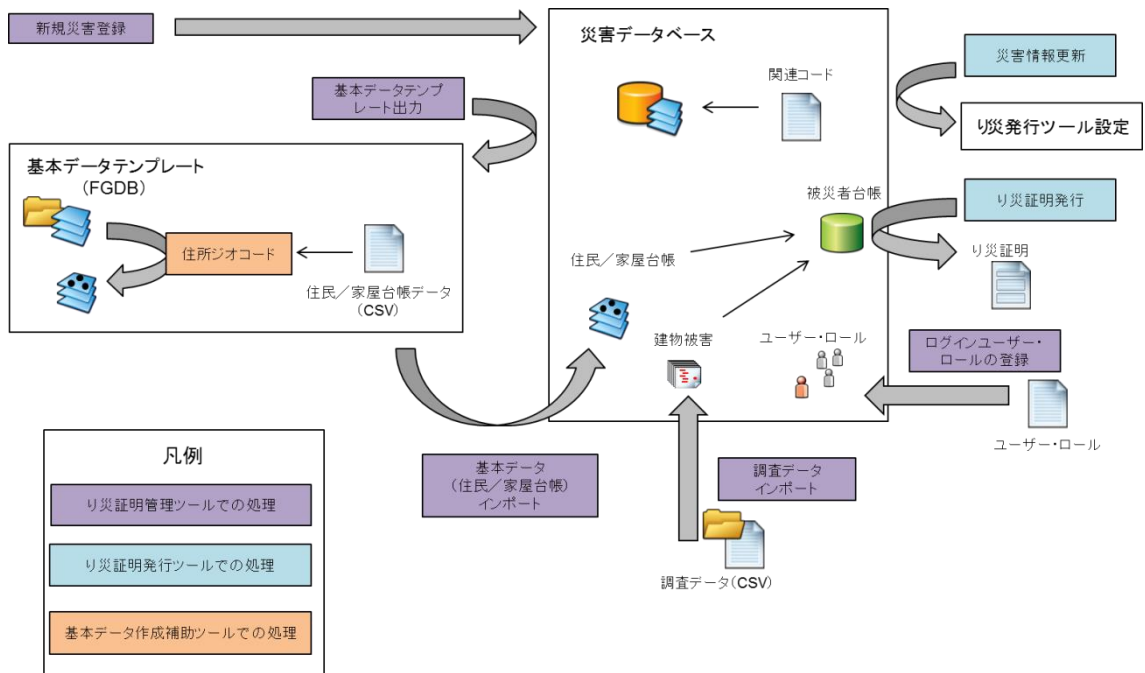
- 報告書 -

2012 年 8 月

1 新規災害登録(CSV から登録)し XY データを取り込む

住民基本台帳や家屋台帳のコード値 CSV を指定して、新規に災害データベースを作成する機能です。

本機能で作成された災害データベースでは、基本データ（家屋台帳データ、住民基本台帳データ）は空の状態ですので、り災証明発行のためには、基本データ作成補助ツールで住所文字列から位置データに変換済みのデータをインポートする必要があります。



1.1 データ管理

1.1.1 基本データテンプレート出力

新規災害登録後、基本データ作成補助ツールで利用する基本データテンプレートを出力する機能です。

本機能で出力した基本データテンプレートには、以下のデータが入っています。このテンプレートと基本データ作成補助ツールで、家屋台帳および住民基本台帳を位置情報に変換することが可能です。また、小規模災害用に、建物被害調査データを ArcGIS for Desktop (ArcMap) を利用して手入力登録するための、データも定義してあります。

表 - 基本データテンプレートの内容一覧

区分	名前	タイプ
家屋台帳	家屋台帳	フィーチャクラス
	家屋台帳_加工テーブル	テーブル

	共有者	テーブル
	区分家屋主棟	テーブル
	災害管理情報_テーブル	テーブル
	住居表示未実施	テーブル
住民基本台帳	住民	フィーチャクラス
	住民_加工テーブル	テーブル
	住民更新	フィーチャクラス
	住民更新_加工テーブル	テーブル
	住民追加	フィーチャクラス
	住民追加_加工テーブル	テーブル
	最新住民_加工テーブル	テーブル
建物被害調査	調査_火災	フィーチャクラス
	調査_水害	フィーチャクラス
	調査_倒壊	フィーチャクラス

1.1.2 基本データインポート

基本データテンプレートと基本データ作成補助ツールで位置情報に変換した基本データ（家屋台帳データ、住民基本台帳データ）を災害データベースにインポートする機能です。

本機能でインポートされた基本データ（家屋台帳データ、住民基本台帳データ）が、り災証明発行ツールでの住民と家屋の検索に使用されます。

1.1.3 調査データインポート

調査票自動データ化システムから出力された住家被害認定調査データ（調査_倒壊データ、調査_火災データ、調査_水害データ）を災害データベースにインポートする機能です。

また、調査データを ArcGIS for Desktop を利用して手入力で登録した調査データもインポートすることが可能です。

本機能でインポートされた調査データが、り災証明発行ツールでの調査の検索に使用されます。

1.1.4 警告データインポート

り災証明発行ツールでの住民選択時、警告メッセージをポップアップで表示するためのデータをインポートする機能です。

警告データとしてインポート可能なデータは、次の通りです。

表 - 警告データのファイル定義

項目名称	属性	最大長さ	備考
世帯番号	半角数値	15	
警告メッセージ	文字列	100	

1.1.5 基本データ削除

災害データベースから、基本データ（家屋台帳データ、住民基本台帳データ）を削除する機能です。それぞれ、次のテーブルの全レコードが削除されます。

本機能は、り災証明発行前に基本データの入れ替えを行う場合や、新規災害登録(既存DBから複製)を行った後に、どちらかのデータを入れ替える場合に利用します。

表 - 基本データ削除でのレコード削除テーブルの一覧

区分	テーブル名	備考
家屋台帳	家屋台帳 共有者 区分家屋主棟 町名コード	
住民基本台帳	住民 住民追加 住民更新 警告	

1.1.6 調査データ削除

災害データベースから、住家被害認定調査データ（調査_倒壊データ、調査_火災データ、調査_水害データ）を削除する機能です。それぞれ、次のテーブルの全レコードが削除されます。

本機能は、り災証明発行前に調査データの入れ替えを行う場合に利用します。

表 - 調査データ削除でのレコード削除テーブルの一覧

区分	テーブル名	備考
調査_倒壊	調査_倒壊 調査_倒壊_H	調査_倒壊テーブル更新履歴データ
調査_火災	調査_火災 調査_火災_H	調査_火災テーブル更新履歴データ

調査_水害	調査_水害 調査_水害_H	調査_水害テーブル更新履歴データ
-------	------------------	------------------

1.1.7 データエクスポート

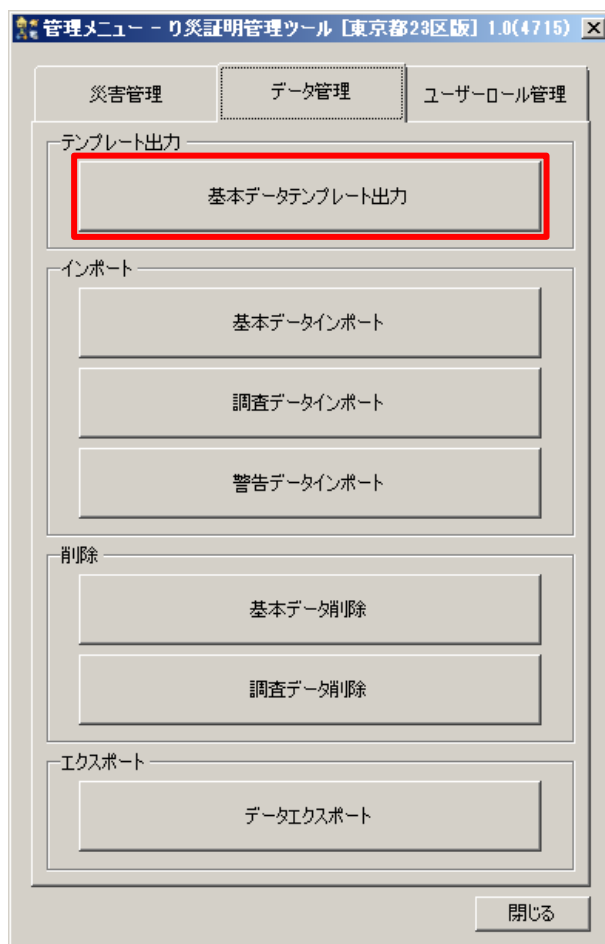
二次調査対象データなどのデータをエクスポートする機能です。

2 適切に XY データを管理するためにテンプレートを採用する

2.1 基本データテンプレート出力

[管理メニュー]画面を表示します。

[データ管理]タブ - [テンプレート出力]グループ - [基本データテンプレート出力]ボタンをクリックします。



[データ管理]画面 - [基本データテンプレート出力]タブを表示します。

① [災害名称]ドロップダウンリストで、基本データテンプレート (※) を出力しようとする災害を選択します。

※ 基本データ作成補助ツールにて、基本データの取り込みおよび変換を行うためのデータテンプレートでファイルジオデータベース (FGDB) 内に格納されます。詳細については、基本データ作成補助ツールのマニュアルを参照してください。

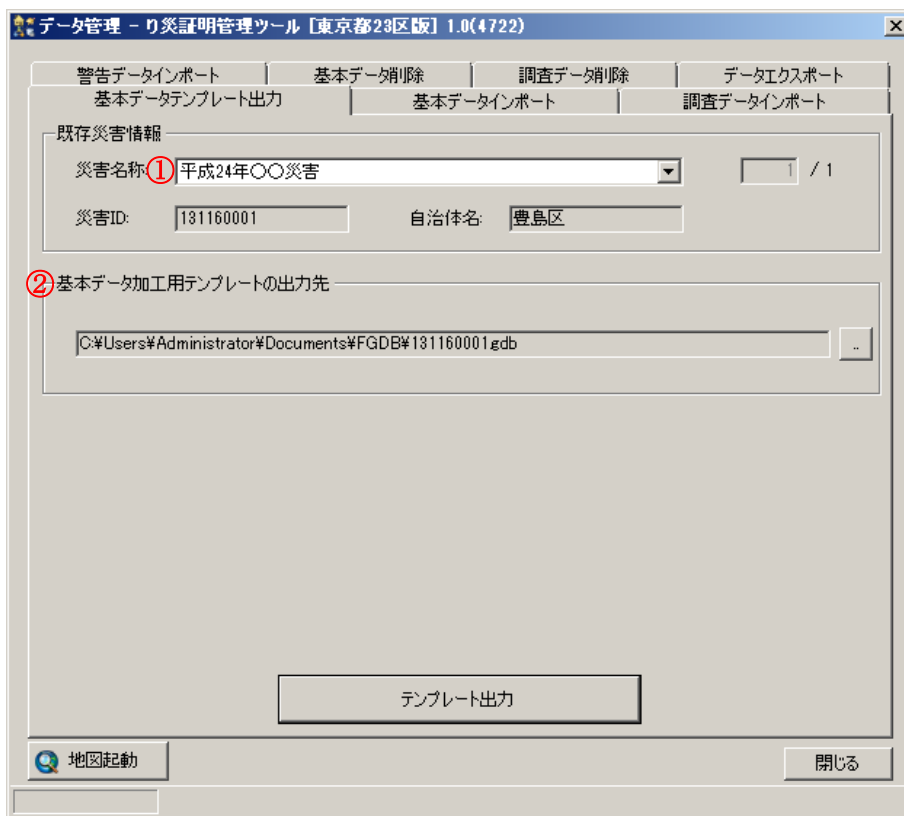
② [基本データ加工用テンプレートの出力先]グループ - [...]ボタンをクリックします。


基本データテンプレートを出力するファイルジオデータベース (FGDB) の選択ダイアログが表示されます。

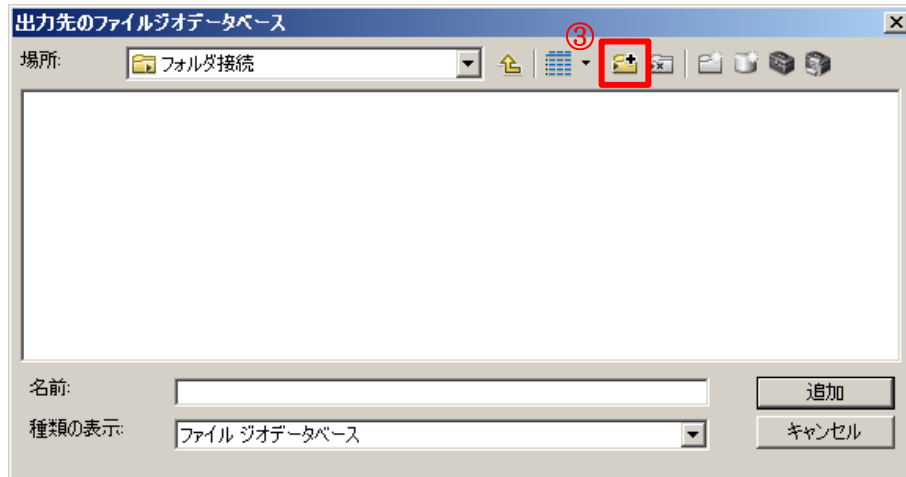
※ 通常、基本データテンプレートは、新規に作成した FGDB に出力します。

[地図起動]ボタンは、データ管理ツール共通で、[既存災害情報]で選択されている災害の地図を、ArcGIS for Desktop (ArcMap)で開く場合にクリックします。

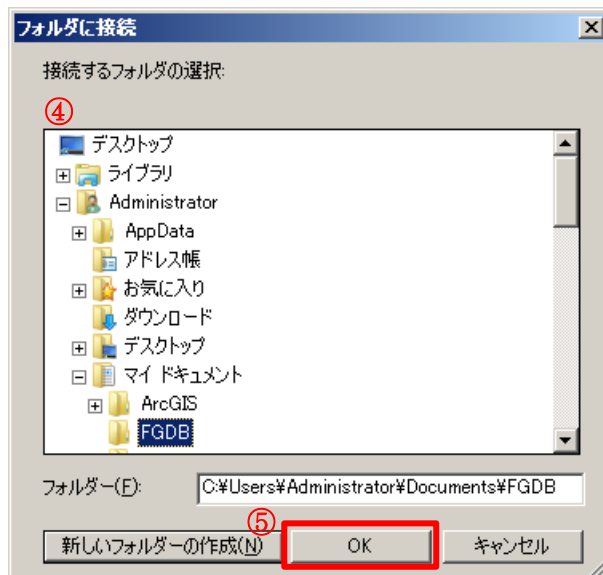
[閉じる]ボタンは、データ管理ツール共通で、データ管理ツールを終了する場合にクリックします。




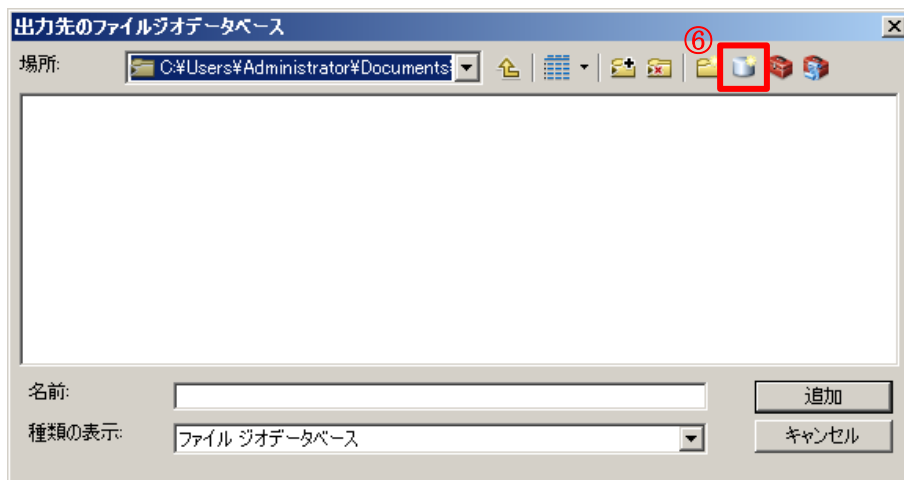
- ①  (フォルダに接続) ボタンをクリックします。
フォルダー選択ダイアログが表示されます。



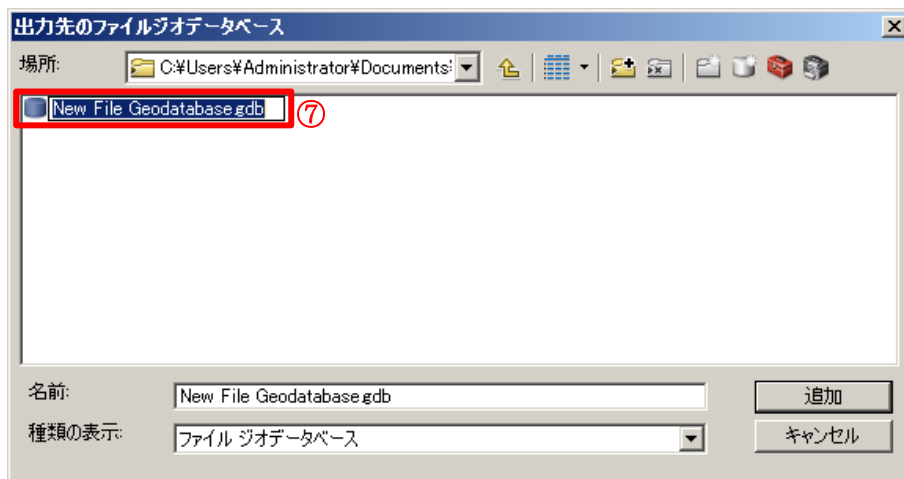
- ② [接続するフォルダの選択]で基本データテンプレートを格納するファイルジオデータベース (FGDB) の格納先フォルダーを選択します。
※ 必要に応じて[新しいフォルダーの作成]ボタンをクリックして新しいフォルダーを作成することも可能です。
- ③ 接続するフォルダーを選択後、[OK]ボタンをクリックします。



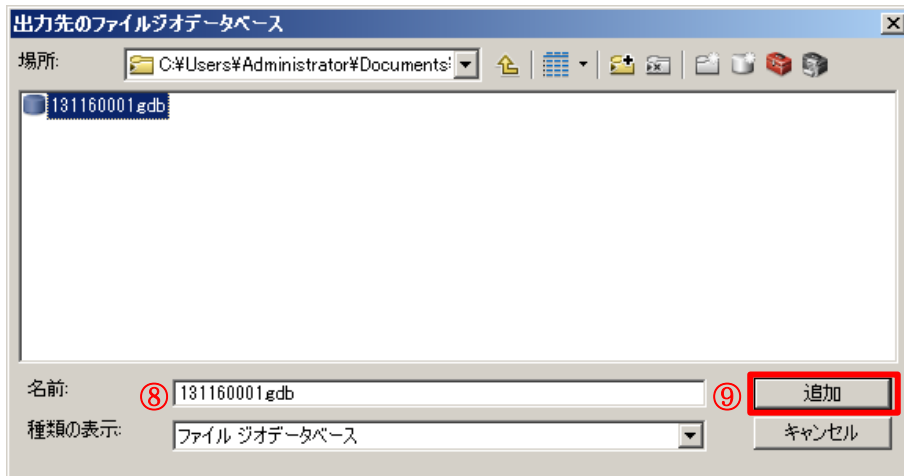
- ④  (新規ファイル ジオデータベース) ボタンをクリックします。
新規にファイルジオデータベース (FGDB) が作成されます。



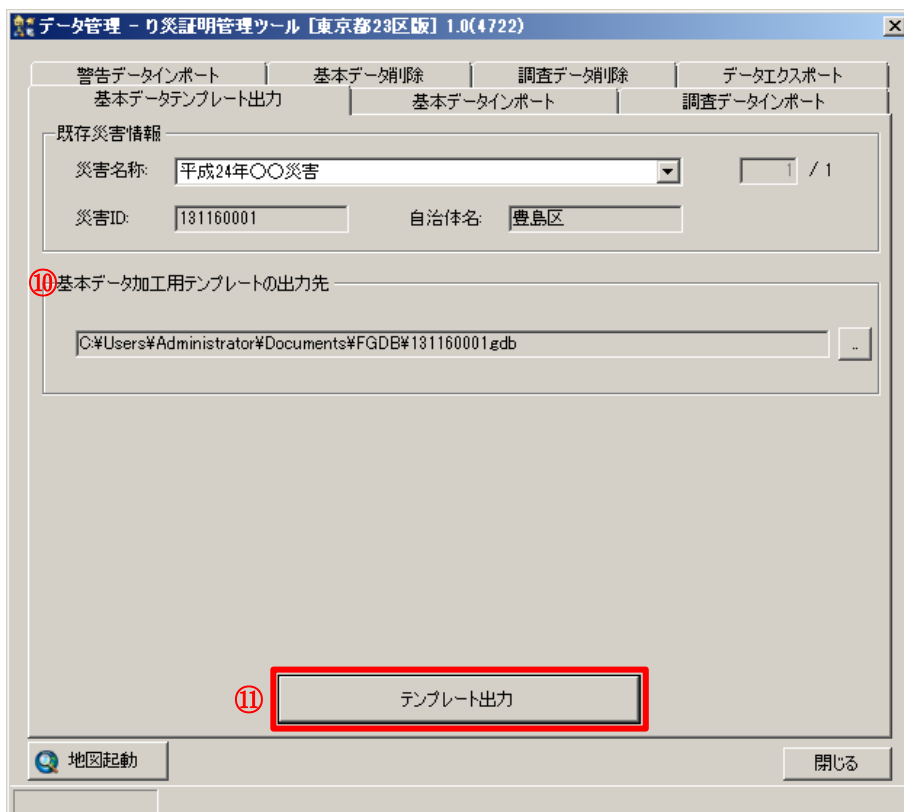
- ⑤ 作成されたファイルジオデータベース (FGDB) に名前を付けます。
※ FGDB の名前には、後ほどの災害用に作成されたものかを特定できるよう、
[データ管理]画面 - [基本データテンプレート出力]タブ - [既存災害情報]
グループ - [災害 ID]に表示されている災害 ID の値を付加することをお勧め
します。



- ⑥ 名前を付けたファイルジオデータベース (FGDB) を選択します。
※ [名前]に選択した FGDB の名前が表示されているか確認します。表示されていない場合は、一度選択を解除し、再度選択し直してください。
- ⑦ [追加] ボタンをクリックします。



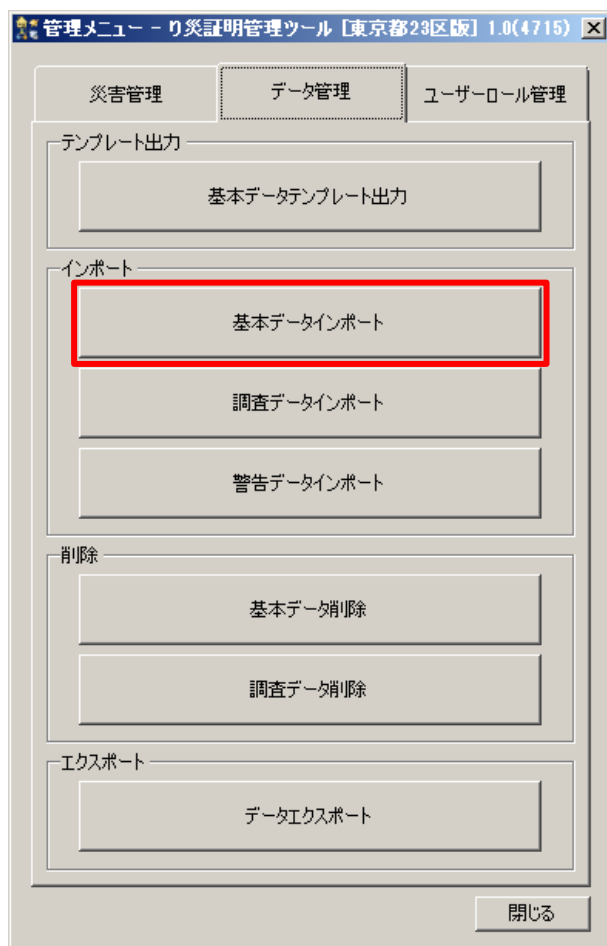
- ⑧ [基本データ加工用テンプレートの出力先]に選択したファイルジオデータベース (FGDB) が表示されているか確認します。
- ⑨ [テンプレート出力] ボタンをクリックします。
選択したファイルジオデータベース (FGDB) に基本データテンプレートが出力されます。



2.2 基本データインポート

[管理メニュー]画面を表示します。

[データ管理]タブ - [インポート]グループ - [基本データインポート]ボタンをクリックします。



[データ管理]画面 - [基本データインポート]タブを表示します。

- ① [災害名称]ドロップダウンリストで、基本データをインポートしようとする災害を選択します。
- ② [インポート対象]グループ - (インポートしようとする) データをチェックします。
- ③ チェックしたデータの[..]ボタンをクリックして、基本データ作成補助ツールでデータを投入したファイルジオデータベース (FGDB) を選択します。
- ④ [基本データインポート]ボタンをクリックします。
指定された基本データが災害データベースへインポートされます。
※ インポート処理にはデータ件数により時間のかかる場合があります。

データ管理 - り災証明管理ツール [東京都23区版] 1.0(4743)

警告データインポート | 基本データ削除 | 調査データ削除 | データエクスポート
基本データテンプレート出力 | 基本データインポート | 調査データインポート

既存災害情報

災害名称 ① 平成24年〇〇災害 1 / 1
災害ID: 131160001 自治体名: 豊島区

②インポート対象

家屋台帳データ - データ無
家屋台帳_ファイルジオデータベース: C:\Users\Administrator\Documents\FGDB\131160001.gdb ③ ..

住民基本台帳データ - データ無
住民_ファイルジオデータベース: C:\Users\Administrator\Documents\FGDB\131160001.gdb ..

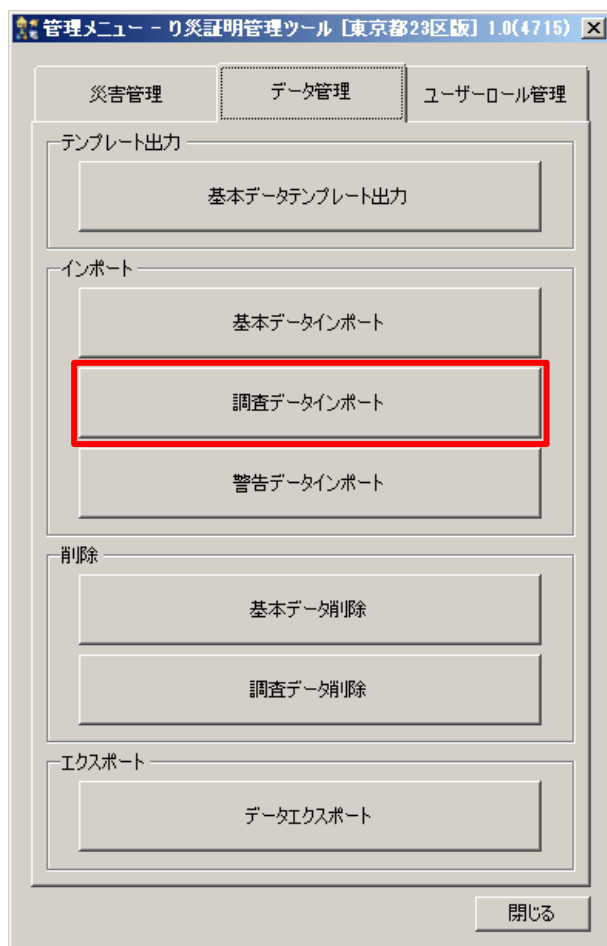
④ 基本データインポート

地図起動 閉じる

2.3 調査データインポート

[管理メニュー]画面を表示します。

[データ管理]タブ - [インポート]グループ - [調査データインポート]ボタンをクリックします。



[データ管理]画面 - [調査データインポート]タブを表示します。

- ① [災害名称]ドロップダウンリストで、調査データをインポートしようとする災害を選択します。
- ② [インポート対象]グループ - (インポートしようとする) データの種類を選択します。

ここでインポートできるデータの種類は、次の通りです。(通常は、調査票データ化ツールで作成した調査 CSV ファイルからインポートを行うので、[調査票 CSV ファイル]を選択します。)

表 - インポートできるデータ種類の一覧

データ種類	説明
調査票 CSV ファイル	調査票データ化ツールで作成した調査 CSV データ
二次調査票 CSV ファイル	調査票データ化ツールで作成した二次調査 CSV データ
調査票ポイント	基本データ作成補助ツールのオプション機能によりデータを投入したファイルジオデータベース (FGDB) 内の調査ポイントデータ

- ③ [インポート対象]グループ - (インポートしようとする) データをチェックします。

<CSV ファイルからのインポートの場合>

- ④ チェックしたデータの[...]ボタンをクリックして、調査票自動データ化システムの調査票データ化ツールで作成した調査データ (CSV ファイル) を格納したフォルダーを選択します。

※ 指定するフォルダーに複数の調査データファイルの格納されている場合、一度に連続してインポートされます。

<調査票ポイントからのインポートの場合>

- ④ チェックしたデータの[...]ボタンをクリックして、基本データ作成補助ツールのオプション機能で作成した調査ポイントデータ (ファイルジオデータベース (FGDB) 内の調査ポイントデータ) を選択します。
- ⑤ 重複する調査データを上書き更新する場合は、[重複する調査番号を上書きする]をチェックします。
- ⑥ [調査データインポート]ボタンをクリックします。

データ管理 - り災証明管理ツール [東京都23区版] 1.0(4722)

警告データインポート | 基本データ削除 | 調査データ削除 | データエクスポート
基本データテンプレート出力 | 基本データインポート | 調査データインポート

既存災害情報

災害名称 ① 平成24年〇〇災害 1 / 1
災害ID: 131160001 自治体名: 豊島区

インポート対象

③ ② 調査票CSVファイル 二次調査票CSVファイル 調査票ポイント

調査_倒壊
調査データ(倒壊)のCSVフォルダ ④
C:\Users\Administrator\Documents\DATA\家屋台帳 ..

調査_火災
調査データ(火災)のCSVフォルダ
C:\Users\Administrator\Documents\DATA\調査_火災 ..

調査_水害
調査データ(水害)のCSVフォルダ
C:\Users\Administrator\Documents\DATA\調査_水害 ..

⑤ 重複する調査番号を上書きする ⑥ 調査データインポート

地図起動 閉じる